

佐藤篤司 准教授(建築耐震構造) 創成シミュレーション工学専攻

□ BCPに配慮した耐震化構法の開発

今後想定される地震に対して十分な耐震性を持たない工場建屋は多く存在する。耐震補強工事により建物の利用が一時制限されてしまう場合には、特に製造業の工場等では大きな問題となる。

建物内での活動を制限しない耐震化構法の開発はその意味でも重要であるが、火器の使用等が制限される施設においても適用可能な耐震化構法の開発は工場等では重要である。火器の使用を必要としない耐震化構法の開発を目指す。



高力ボルトによる柱梁接合部の実大実験
